

資金繰り表（作成手順及び記載例）

（自令和 年 月 日 至令和 年 月 日）

（単位：万円）

		年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	合計
売	上 高	334.0	255.0	234.0	222.0	261.0	275.0	1,582.0
仕	入・外注費	157.0	120.0	110.0	104.0	123.0	129.0	743.0
前期繰越現金・当座預金(A)		61.0	111.9	148.4	78.2	20.4	49.0	
収	現金売上							0.0
	売掛金回収	239.2	280.6	214.2	196.6	186.5	219.2	1,336.2
	手形期日落	55.0	51.0	53.0	59.8	70.1	53.6	342.5
	手形割引							0.0
入	その他収入	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	24.0
計(B)		298.2	335.6	271.2	260.4	260.6	276.8	1,702.8
支	現金仕入							0.0
	買掛金支払	31.0	33.0	25.2	23.1	21.8	25.8	159.9
	手形決済	89.0	87.0	92.0	124.0	131.9	100.8	624.7
	賃金給与	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0	366.0
	支払利息・割引料	7.2	7.2	7.1	6.8	7.0	7.0	42.3
出	上記以外の経費	104.1	85.9	81.1	78.3	87.3	90.5	527.2
仕入・外注費、経費以外の支出					200.0			200.0
計(C)		292.3	274.1	266.4	493.2	309.0	285.1	1,920.1
差引計(D=A+B-C)		66.9	173.4	153.2	-154.6	-28.0	40.7	-217.3
借	短期借入金				200.0			200.0
	長期借入金	70.0				100.0	50.0	220.0
	計(E)	70.0	0.0	0.0	200.0	100.0	50.0	420.0
財	短期借入金	25.0	25.0	25.0	25.0	23.0	23.0	146.0
	長期借入金			50.0			50.0	100.0
	計(F)	25.0	25.0	75.0	25.0	23.0	73.0	246.0
計(G=E-F)		45.0	-25.0	-75.0	175.0	77.0	-23.0	174.0
翌月繰越現金・当座預金(H=D+G)		111.9	148.4	78.2	20.4	49.0	17.7	

【手順1】
「決算書」「試算表」「総勘定元帳」等を確認して、期首残高を記入します。

【手順2】
確定分・過去の実績・季節性等を考慮し、「予想売上高」「予想仕入・外注費」を月次で記入します。

例えば、「受取利息・配当」「前受金」「固定資産等の売却」「定期預金取り崩し」「増資」

【手順3】
①期首における「受取手形」「売掛金」の回収予定金額及び②それ以降の「予想売上高」に対する予想回収金額を月次で記入します。

【手順4】
①期首における「支払手形」「買掛金」の支払予定金額及び②それ以降の「予想仕入・外注費」に対する予想支払金額を月次で記入します。

例えば、「税金」「役員賞与」「配当」「前渡金」「固定資産等の購入」

【手順5】
それぞれの予定金額を月次で記入します。

【手順7】
各月で資金不足が発生する場合（「翌月繰越現金・当座預金」欄がマイナスの場合）、資金不足を補てんするための資金調達手段を検討し、調達予定月に金額を記入します。

【手順6】
「返済予定表」等から予定金額を月次で記入します。新規調達予定分も忘れずに記入します。